

令和2年度 第2回さいたま市食育推進協議会（書面会議） 会議録

- ◎ 開催期間 令和3年1月28日（木）から2月8日（月）まで

- ◎ 出席者 田中委員（会長）、若杉委員、金沢委員、秋山委員、加藤委員、湊委員、鹿島委員、清水委員、川島委員、佐藤委員、榎谷委員、小澤委員、溝口委員、江崎委員、中川委員

- ◎ 資料
 - ・ 次第
 - ・ さいたま市食育推進協議会設置要綱、運営要領
 - ・ さいたま市食育推進協議会委員名簿
 - ・ 資料1 第3次さいたま市食育推進計画 進行管理表
 - ・ 資料2 令和2年度の食育関連事業（実績）
 - ・ 資料3 さいたま市食育なび アクセス数の推移
 - ・ 資料4 「さいたま市健康づくり及び食育についての調査」について
 - ・ 資料5 「令和2年度第3回食育推進評価専門委員会 資料2」より抜粋
 - ・ (参考資料1) 「さいたま市の食育取組状況 令和元年度」
 - ・ (参考資料2) 「毎年10月は朝ごはんを食べよう強化月間」リーフレット
 - ・ (参考資料3) 「2019年さいたま市乳幼児期における食育取組事例集」

1 議事

(1) 第3次さいたま市食育推進計画の進行管理について

- ・資料1 第3次さいたま市食育推進計画 進行管理表
- ・資料2 令和2年度の食育関連事業（実績）
- ・資料3 さいたま市食育ナビ アクセス数の推移
- ・（参考資料1）「さいたま市の食育取組状況 令和元年度」
- ・（参考資料2）「毎年10月は朝ごはんを食べよう強化月間」リーフレット

<説明>

資料1は、計画の進捗状況を確認し、取組の評価・見直しを行うための進行管理表です。

- ・食育の目標「さいたま市5つの『食べる』」（計画書P34参照）について、1つの「食べる」を1シートとし、それぞれ5年間の推移が見えるようにしています。シートの上半分は、数値目標の推移です。下半分は、主な取組の成果・課題で、「さいたま市の食育取組状況」をもとに、総括として記入しています。（参考資料1）は令和元年度の「さいたま市の食育取組状況」です。
- ・P1 数値目標①、③、④に関する取組として、（参考資料2）のリーフレットを作成しました。詳細は、資料2 P2 3）重点プロジェクトの推進（1）朝食のとおりです。
- ・P1 数値目標③ 毎日、三食野菜を食べる人の割合 「壮年期」の2020（R2）の欄に、参考値として、インターネット市民意識調査の結果を記入しています。45.8%と高い数値でしたが、目標値を設定した際の調査は5年に1度に大規模で実施しているものです。一方、インターネット市民意識調査は、大規模の調査を実施しない期間の状況を把握するための参考値です。したがって、完全な比較はできないことから、野菜を食べることについての啓発は引き続きしっかりと取り組む必要があると考えています。
- ・P4 下部、数値目標⑰「さいたま市食育ナビ」へのアクセス数は、令和2年12月までの数値を入れており、詳細は資料3にまとめています。
- ・P5 数値目標⑭ 学校給食における地場産物の使用の割合は、令和2年度の実績（28.8%）を記入しています。

これまでの取組についての御意見、今後の食育の推進についての御意見（名簿順）

<若杉委員>

（資料1）

目標を設定し、年度毎に食生活の改善傾向を数値化してみていく事で具体的な課題が見えてくる事や新たな取組への指標となるので進行管理表は重要であると考えます。

取組への成果が追いきれていない部分も多くありますが、もし同様な調査をしたらよい結果が期待できると思います。

（資料2）

実際に食への意識や習慣を変えていく事は大変な事であると考えますが、学校、保育園、食育関係団体、家庭に向けていろいろな角度からいろいろな媒体を使って「5つの食べる」を地道に推進してきた事は良い種まきがなされてきた事であり、その効果が期待されます。

(資料3)

「食育ナビ」のアクセスが年々増加している事に驚きました。ネットを媒体とした食育啓発活動は現代においては大変重要で個人に対して簡単に届きやすい手段であると感じました。レシピに興味がある事で自然に健康的な食事がとれるのも魅力的であると思います。

<金沢委員>

(資料1)

- ・全体にしっかり取り組んでいると思う。
- ・65才以上の方々の集まりは1回平均30~40人はいらっしゃるようであるが、他の年齢、集まりは少し少ないように思った。(次年度は全体に少なくなるのでしょうか。)

(資料3)

乳幼児期は、調理の方法で好き嫌いができてしまうので、ご苦労を感じる。

「食育ナビ」は問題はないかと思う。

<田中委員>

(1) 食育の目標

数値目標のベースラインとの達成度を評価する調査の予定が全てにあるように見受けられませんが他に調査を実施する予定がありますか。無い場合は、どのように評価しますか。

(2) 主な取組

- ・「成果・課題」については、事業の取組が記載されていて成果の内容は見受けられない。取組に対する成果・課題の記載が少なく、事業が実施されているかも見えてこない。
- ・課題への対策を今後どのようにするかが見えない。

<秋山委員>

令和2年度は、実際に食育活動を行うことが難しい状況だったと思いますが、家庭での食育には前向きな影響があったのではないのでしょうか。

その一つに「食育ナビ」のアクセス数が増加したことが挙げられると思います。家庭で料理する機会が増えたことは、食育に関心が向くようになったともとらえられます。今後もこの状況が続くことを鑑み、ますますコンテンツの充実、新レシピの追加等を期待いたします。

<加藤委員>

コロナ禍で目標値の設定や成果(結果)を単純に比較することが難しいかと思われませんが、今後のためにデータを残すことは大切だと思います。

外出や外食の機会も減り、「食」や「健康」について皆が考えるきっかけを提供する活動を考えていきたいです。

<湊委員>

資料は食育推進事業実施時の参考にし活かし、地域の健康づくりに活用して参ります。

地域の子どもから高齢者まで各世代に合った食育推進活動を進めることができました。

<鹿島委員>

本年度は、何時もの様な調査ができにくかった事と思います。その中での調査、大変でしたでしょうね。お疲れ様でした。

「食育なび」の周知は、時節柄、手渡しでは貰ってもらえないので、市報及びリーフレット（学校・保育園・幼稚園）の配布の方が有意義に思います。

市報は、私達は直ぐに目につきますが、もう少し目立つと良いですね。

3～5歳児向けの食事バランスガイドのリーフレットは、他人と関わりを持たない今こそ便利に活用できると思います。

<清水委員>

（資料1）「第3次さいたま市食育推進計画 進行管理表」

- ・新型コロナによる緊急事態宣言下において、内食化が進む事により「食」と向き合う機会が多くなっております。料理や体験教室等、コロナ禍により活動が難しい状況ではありますが、「食育なび」、あるいはブログ等インターネットを活用した、積極的な情報発信により、引き続き「さいたま市5つの『食べる』」の推進を図っていただければと思います。

（資料2）「令和2年度の食育関連事業（実績）」

- ・「食育なび」に掲載された「新しい生活様式における栄養・食生活のポイントについて」は、タイムリーで非常に良い情報発信だったと思います。
- ・朝食の「カリフローレ」の提案等のように、具体的なレシピの提示を増やすことにより、「食」への興味を持っていただけるのではないのでしょうか。

（資料3）「さいたま市食育なび アクセス数の推移」

- ・「食育なび」のアクセス数が急増する中、主役は紙媒体からインターネットへと移りつつあります。既にレシピ検索では対応していますが、今後はスマホ対応サイトの拡大が不可欠かと思えます。

<川島委員>

（資料2）

令和2年度は新型コロナウイルス拡大により、色々な事業の進めにくい年でした。

しかし、私、初めて市食育推進協議会委員となり、内容があまりつかめていませんが、今回の資料等を確認させていただき、食育関連の大切さを感じました。

（資料3）

上記のなか、「食育なび」のアクセス数の推移が、昨年度より今年度の数値が伸びている事、食に関心が高まっていると思います。今後もより多くの方々に、チラシ・情報提供をお願いいたします。

<佐藤委員>

特に意見はありません。

<榎谷委員>

私はつい最近委員となり、資料を送っていただき、目を通させていただきました。このような協議会が活動しておられることもよく分からずにいました。まずは皆様の活動に心より敬意を表したいと思います。私は私立幼稚園の園長をしております、日頃から食育には一応興味があります。古い考えかもしれませんが食事の基本は家庭にあると思ひ、毎日、お弁当を持参してもらっています。（ご家庭の理解をいただいているからこそなのですが）お子さんにとっては、華美なお弁当でなくても、自分のために詰めてくれたお弁当が大切（価値がある）と思っています。そのうえで栄養のバランスがとれていたら何よりですね。偏食のお子さんもいるので園で野菜を育てたり、調理をしたりという計画も多いのですが、このコロナの中で思うようにできないのが残念です。でも家庭での食事に目を向けることが多くなっているのはよいことなのかもしれません。

<小澤委員>

- ・資料1では、食育の目標、小目標に向けて、様々な取り組みを実行され、そちらが、少しずつ、成果がみられてきていることが、分かりました。今年度は、コロナ禍ということで、ライフスタイルが変化してきておりますので、食育の重要性が皆様に伝わっていきけるよう、引き続き取り組みを実践していくことが、必要だと考えます。私立保育園でも、引き続き、食育に力を入れて取り組んで参りたいと思います。
- ・「食育ナビ」のアクセス数推移が増加しております。皆様がインターネットを活用しやすい状況になっていますので、引き続き、インターネットでの情報発信を継続していただくことが大切と考えます。

<溝口委員>

朝ごはんを食べよう強化月間リーフレットが、実用的でとても素敵だと思いました。カリフォルニア、近所のスーパーでは見かけないのですが、代替野菜の紹介もしていただき、献立例の写真があることで、「食べてみたい!」と感じました。

このコロナ禍で、家で食事をする機会も増えていると思います。

食育の目標にある、「確かな目をもって」食育すること、栄養バランスのとれた食事を食べることについて、今一度見直す、考えるきっかけとなりました。加えて、色々な学校の学校給食を、「食育ナビ」で見せていただき、改めて、学校給食のバランスの素晴らしさを実感いたしました。コロナ禍で、毎日の食について悩みをかかえる保護者の方にもとても心強いホームページだと思います。

<江崎委員>

「食育ナビ」へのアクセス数は、増えてはいますが、全市民が情報を共有できる「市報掲載」

を増やすことで、幅広い年齢層の目につきやすいのでは。また、「食育ポスター」は高齢者施設等にも配布したら良いと思います。

「朝食に野菜を！」で、カリフローレのレシピで、代替品として、ブロッコリー、アスパラガスを使っていますが、価格も安く、栄養価も高く、普通に手に入るので、良いと思います。

ヨーロッパ野菜の普及も大切だと思いますが、誰もが入手しやすい「冷凍野菜」の使用メニューは、いかがでしょうか。時間がない朝食にも、取り入れやすいと思います。

<中川委員>

- ・食育の目標のひとつに『「いっしょに楽しく」食べる』があるが、新型コロナウイルスの対策としては共食は抑制する方向にある。食育目標としてとらえ直すのか、どう推進するののかの判断が必要ではないか。
- ・資料2、資料3の令和2年分についてはコロナの影響がどれくらいあったかを計算的に分析する必要があるのではないか。特にアクセス数については緊急事態宣言等による巣ごもりの影響とサイトの運営の効果を切り分けないと増加についての評価が正しくできないのではないか。

事務局より

田中委員の御質問「数値目標のベースラインとの達成度を評価する調査の予定」につきまして、数値目標の達成状況は、令和3年度に実施予定の「さいたま市健康づくり及び食育についての調査」（資料4参照）をもとに評価いたします（⑬⑭⑰以外）。数値目標⑬⑭⑰は、各所管課で把握している数値を評価いたします。

資料1進行管理表の「主な取組」につきましては、（参考資料1）さいたま市の食育取組状況をもとに、分かりやすい記載に努めてまいります。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業が多くありましたが、令和3年度は、感染症の状況等を注視し、対策を講じた上で実施するなど、食育の取組を継続できるよう検討してまいります。

食育の普及・啓発につきましては、皆様からいただいた御意見を踏まえ、「食育なび」等のインターネットを積極的に活用するとともに、市報の掲載内容や啓発物の配布先を見直すなど、あらゆる世代へ情報を届けられるよう努めてまいります。

2 報告

(1) 「さいたま市健康づくり及び食育についての調査」について

- ・資料4 「さいたま市健康づくり及び食育についての調査」について

<説明>

資料4のとおり実施予定です。

(2) 次期食育推進計画について

- ・資料5 「令和2年度第3回食育推進評価専門委員会 資料2」より抜粋

<説明>

上記の「さいたま市健康づくり及び食育についての調査」の調査結果や、資料5国の第4次食育推進基本計画等を踏まえ、令和4年度に本市の次期食育推進計画を策定予定です。

なお、前回の書面会議で報告しましたとおり、「さいたま市ヘルスプラン21（第2次）」、「第3次さいたま市食育推進計画」、「さいたま市歯科口腔保健推進計画」の3つの計画を統合します。

(3) 「さいたま市乳幼児期における食育取組事例集」の作成について

- ・(参考資料3) 「2019年さいたま市乳幼児期における食育取組事例集」

<説明>

(参考資料3) 2019年の事例集と同様に作成します。

令和2年の取組事例は、幼稚園3園、認可保育所(私立)58園、認可保育所(公立)61園からご報告いただきました。

3 議事の他にいただいた御意見

<若杉委員>

いろいろ勉強させていただき感謝申し上げます。

<田中委員>

- ・書面会議においては、議事内容への理解不足や意見の交換ができないため WEB 会議も検討する必要があるのではないかと。
- ・第4次食育推進計画（2022年度）への論点整理が必要でないかと。

<秋山委員>

“カリフローレ”レシピの普及により、朝食欠食率に変化があったかを知りたいと思います。効果があれば、今後の取組にもつなげていただきたいと思います。

<加藤委員>

研修や会議も Web 対応が普通になりました。

「食育ナビ」のアクセスが増えているので、何かオンラインイベントのようなものができたら楽しいかと思いました。（例えば食育検定幼児版、小学生版等・・・）

小中学校での pad の配布も決まっているようですので、上手く活用できると広がりそうですが、いかがでしょうか。

<湊委員>

令和3年度、5つの「食べる」は、ま“「まごころに感謝して」食べる”。その中でエコな暮らしと節約も取り組みの一つ。食品ロスの削減、ゴミの減量、リサイクルなどエコな食生活の取り組み方の創意工夫の提案、例えば食材は捨てることなく無駄なく作りおき、使いまわして、使い切る活用方法などのメニュー作りと考えます。

<鹿島委員>

コロナに振り回された1年になりました。思う様な活動・調査ができず皆様も大変だったと思います。（私共も何時もの半分も活動できませんでした。）

市民の皆様が、家にいらっしゃる時間が増えた今こそ、食育に関心があるのではないのでしょうか。インターネット（ウェブサイト）のより活用を期待しております。

<清水委員>

コロナ禍において大変なご苦勞をされているかと思いますが、日々頭の下がる思いです。引き続きよろしくお願ひ致します。

<佐藤委員>

さいたま市食品衛生協会ですが令和3年6月より、HACCP が国の法律により施行されます。

昨年は3名1組になり各店舗に資料を配り（チェック資料）指導に廻る。現在、コロナ禍のため活動がストップしております。

<榎谷委員>

これだけの資料を作成なさるのは本当に大変でいらしたと思います。朝ごはんの大切さは私たちも保護者の方たちによく伝えていますが、皆さんの意識を高めていくことはささやかなことですが、努力していきたいと考えます。

<小澤委員>

来年度のさいたま市私立保育園協会 食育部では、部長が改選されます。2年間の短い期間ではございましたが、大変勉強になりました。ありがとうございました。

今後とも、宜しくお願い致します。

<溝口委員>

さいたま市PTA協議会、中央区連合会では、令和2年度、このコロナ禍で保護者の皆さんも興味があるであろう「新型コロナに負けない丈夫な体をつくる食事、免疫力を高める食事」というお題で、人間総合科学大学の秋山先生に、講義をお願いし、「動画のネット配信」という形態で、生きる基本の「食」について学ばせていただきました。バランスのとれた食事の大切さ、学校給食がとても良い見本であることなど、とても勉強になりました。

<江崎委員>

「食育取組状況」で、保育園、幼稚園での「とうもろこしの皮むき」「そら豆のさや取り」等は、良いのですが、小学校で再度取り組む必要ありますか。学校では、もう少し別の取組ができるのでは。例えば、「推奨しているヨーロッパ野菜について」とか「地場産物について学び、食す」とか行うことで、子から親へ情報が提供され、普及にもつながると思います。

<中川委員>

参考資料1で継続案件については前年度の課題にどう対応したかの記述もあった方がよい。

事務局より

「食育ナビ」等のインターネットの活用、学校における食育の取組の見直し、これまでの課題への対応状況の確認など、皆様からいただきました御意見を食育関係部局で共有し、より効果的な食育の推進を目指してまいります。

令和3年度に実施予定の「さいたま市健康づくり及び食育についての調査」の結果に基づき、また、国の第4次食育推進基本計画等を踏まえ、令和4年度の次期計画策定作業に向け論点整理をしてまいります。

秋山委員の御質問「“カリフローレ” レシピの普及により、朝食欠食率に変化があったか」につきまして、前後の変化は確認しておりませんが、公立保育園 1 園に御協力いただき、アンケート調査を行いましたので、参考に集計結果を報告いたします。

問：『カリフローレのレシピ』を見て、取り組んでみようと思うことはありますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

(以前から取り組んでいることも○をつけてください。)

集計結果：

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. カリフローレを食べてみようと思う | … 65.2% |
| 2. 食品を購入するときに、できるだけ国産や地元のものを選ぶ | … 71.7% |
| 3. 朝ごはんを毎日食べる | … 89.1% |
| 4. 主食・主菜・副菜がそろった食事をする | … 71.7% |